



報道は“真実”ではなかった。
今の時代にこそ伝えたい、
知られざるアナウンサーたちの
苦悩と葛藤の実話が映画化

劇場版 アナウンサーたちの戦争



森田 剛

橋本 愛 高良 健吾 安田 顕

浜野 謙太 大東 駿介 水上 恒司 藤原 さくら 中島 歩 渡川 清彦

眞島 秀和 降谷 建志 古舘 寛治 小日向 文世

脚本 倉光 泰子 音楽 堤 裕介

制作総務 新垣 昭 プロデューサー 城野 厚 林 啓光 撮影 佐々木 達之介 照明 高村 孝志 美術 山口 徹也
監修 西条 一也 大久保 昌樹 音楽 高田 伸夫 音楽監修 高上 孝 編集 北本 哲夫 映像技術 斎藤 伸樹 VFX 高崎 圭介
美術ディレクター 川村 祐一 衣裳 竹林 正人ヘアメイク 山田 香子 装飾 三代目 現由 殺し道具 小原 正志 脚本監修 山下 啓人
制作担当 廣尾 昌幸 助監督 長尾 実 演出 一本 正基

2024年11月 上映時間：113分（カラー）シネマサイズ（5.1ch）テレビ版制作著作：NHK
製作協力：NHKエンタープライズ 製作・配給：NAKACHIKU PICTURES

©2023 NHK



©2023 NHK

太平洋戦争中、日本軍の戦いを支えたのは「電波戦」と呼ばれるラジオ放送であり、ナチスのプロパガンダに倣って敵を混乱させるなどの活動が行われた。日本放送協会のアナウンサーたち、特に和田信賢と館野守男が重要な役割を果たし、開戦の第一報や緒戦の勝利を強力に伝えて国民の士気を高めた。



©2023 NHK

しかし、戦況が悪化する中、和田は大本営の発表に疑問を持ち、館野と意見が対立する。新人アナウンサーの実枝子も軍や情報局の圧力で苦境に立たされる。戦争の末期、マニラでの放送が終わり、米軍機の接近が迫る中、和田たちは終戦に向けた動きを見せていく。

日時	2025年8月2日(土) 午後1時開演(午後0時30分開場予定)	入場 無料
場所	大東市立市民会館2階 キラリエホール	
定員	150名(入場整理券必要)	
整理券	7月4日(金)から配布	
整理券 配布場所	- 人権室(市役所3階) - 来ぶらり南郷 - 市立市民会館 - 北条人権文化センター - 生涯学習センター「アクロス」 - 野崎人権文化センター	

特別企画

朗読花みずきによる平和朗読
平和首長会議原爆ポスターの展示

電子申請は
QRコードから
お申込みください

